

(メッセ海外通信 2012年10→12月号掲載記事)

～釜山に英語留学?!～

下関市総合政策部国際課
(釜山広域市派遣職員)
高野 良之

ここ韓国は日本よりも教育熱が高いことで有名な国ですが、中でも外国語、特に英語の学習熱が高いことにはびっくりします。大学生は専攻の学習以上に英語学習（TOEFL、TOEIC等）に力を入れることから、就職活動においてもいわゆる一流企業を志望する学生は大半がTOEIC900点以上を取得しており、英語力だけでは採用の決定材料にはならないという厳しい（企業側にとってはうれしい）状況にあるそうです。

しかしながら、韓国においても日本と同様に「英語を話す力」が弱いとされています。そこで、釜山広域市は英語圏の国に留学しているような環境を作り英語に対する自信を植え付けるという目的のもと、2009年7月に釜山グローバルビルジという施設を建設しました。

この施設は、1万8,718m²という広大な敷地に地上4階建てと5階建ての建物が併設され、敷地内はすべて英語しか使用することができないように工夫されています。中でも特徴的なのは地下鉄、百貨店、病院などの疑似体験施設を50室以上も備えていることで、この体験施設を活用することで、より実用的な英語を学習することができるようになってきました。対象は幼児から大人まで幅広く、プログラムも平日集中的に学べるコースから週末のみのコース、夏休みに集中して学習するサマーキャンプ等多彩なプログラムで構成されています。

授業の特徴としては、とにかく楽しむ！ということが最優先されていることから、授業を受けた子供たちの満足度はなんと90%を超えるということです。



学校風景



授業風景 ヨガ体験

授業料の安さも大きな魅力の一つです。平日午前10時から午後5時までのコースで月66万ウォン（5万円弱）、8泊9日のサマーキャンプは3食、宿泊費込みで70万ウォン（5万円程度）と英語圏の語学学校に比べ半額程度の料金で授業を受けることができます。

このようなことからこのグローバルビレッジは、開校当初からとにかくすごい人気で、3年余りですでに15万名以上が利用しています。

この施設にこの8月、福岡市の中学生70名が8泊9日の日程でサマーキャンプを受講いたしました。授業を受けた生徒に感想を聞いてみますと、次のような回答が寄せられました。

Q1. サマーキャンプでの授業は今まで受けてきた授業とどのように違いましたか。

- ・英会話中心の授業であったため、当初は会話を聞き取ることができず、とても難しく感じたが、社会に出て実際に使える英語を学ぶことができた。
- ・質問に対する答えと理由をすぐに求められることが違った。学習中ずっと英語を話し続けるという経験は、日本の学校ではなかなかすることができないので、すごく良い経験になった。
- ・先生や韓国人の生徒は日本語がまったく通じないので、本当の意味での英語漬けの授業だった。
- ・日本の英語の授業とは違ってインプットよりもアウトプットが多かった。特に英作文の授業は役に立った。気軽に文の書き方や単語の意味を先生に聞いて、自分の力でレベルの高い英作文を書くことができた。

Q2. 今回サマーキャンプに参加して何が変わりましたか。

- ・以前は英会話と聞いて怖じ気づいたり慌てたりして、本来の自分の力を十分に発揮できなかったことも多々あったが、現在は、英会話に対する不安が軽減されている。
- ・韓国人の生徒やネイティブの先生と会話していくにつれて、言いたいことが「パツ」と英語で話せるようになり、英語に対する自信がついた。
- ・一番伸びたと感じるのは、コミュニケーション力。一緒に授業を受けた韓国人学生とのコミュニケーションは、発音の訛りやボキャブラリーの少なさがあって難しかったが、そういうときに、言い方を変えたり、身体を使って説明の方法をどう工夫したらいいかわかった。そして、英語力の向上以外にも、韓国語を覚えてもらい、韓国の小中学生のファッションや性格の特徴がわかった。

Q3. 今後どのように勉強していきたいですか。

・ネイティブ・スピーカーの先生と少しでも多くの英語を使って、会話の練習をしたい。また、今回友だちになった韓国の方々ともメールなどをし、外国の人と積極的にコミュニケーションをとっていききたい。同時に、日本の事もよく学び、世界に羽ばたける人になれるように、勉強を頑張りたい。

・英語の先生やALTの先生方と英語で積極的に会話をしていききたい。また、自分の伝えたいことをしっかりと伝えるために、毎日、英文日記を書いたりして、語彙力を伸ばしていきたい。

・英語をもっと話せるようになるために、まずはボキャブラリーを増やすことに取り組みたい。そして韓国語について興味があったので、韓国語にも挑戦しようと思う。

このように、短期間の研修においても英会話能力向上のきっかけをつかみ、また英語圏以外の国の学生と共に学習することによって、その国の言語や文化を理解しようとする、いわゆる「国際力」の向上にもつながっていることがわかつています。

今後はマーケティングを積極的に行い、海外からの受け入れをどんどん増やすように努めていくとのこと。皆さまも近くて安い釜山グローバルビレッジでの英語留学をご検討されてみてはいかがでしょうか。

(参考) 釜山グローバルビレッジ紹介HP

http://www.bgv.co.kr/img_spc_solution/main/japanese_brochure.pdf